
俺じゃ…ダメかな…?

和翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺じゃ…ダメかな…？

【Nコード】

N6888R

【作者名】

和翔

【あらすじ】

初めて小説書いてみました

中学生は付き合おうと

名札を交換するんですが

今回は名札がキーワードです

私は水野麗^{レイ}

中学3年生で

まあごく普通の女子（笑）

1週間前に

芦田潤と付き合った

まだ誰にも言っていない
隠してる感じ。

唯一知ってるのは

潤の親友、阪口成

「成〜！成〜！」

私は成を小声で呼んだ。

「えっ、何？」

成は自分を指さして私のところまで来た。

「これ、潤に渡して♪」

私は右手を前に出した。

「名札か（笑）」

成は笑いながらも受け取ってくれた。

私は潤の名札も欲しいって成に伝えといた。

潤side

「ああしいだあゝ！」

成ははしやぎながらこっちに向かってくる。

「成どーした？」

俺は疑問をぶつけた。

「麗から♪潤のも欲しいって」

成は何故か得意気にそう言った。

「わかった」

俺はそう言い、名札を探した…あれ…？

あ、成にあげたんだ…。

「成っ、名札返して！！」

「なんでだよ！！予備ねえの？」

成は膨れっ面になりながら俺に聞いてきた。

「いや、成にあげたの予備だし…（笑）」

俺は呆れながらもそう言った。

すると成は女子っぽくこう言った。

「俺は潤の欲しい♪もん☆」

俺は成から名札を返して貰う代わりに
あることを頼まれた…。

「えっ、やだよ。」

俺は一生懸命否定した。

「潤なら出来るっ！てか、しろ！！」

成は怒り口調で俺に突っ掛かってくる。

そこまで言われたら仕方ないか…。成も馬鹿だよなあ

麗side

『屋上来て！！』

って潤に言われた。

「まだかなあ…」

私は寒空の下、潤を待つ。

ガチャ…

「ごめん！待った？」

潤は優しく声をかけてくれた。

「大丈夫♪」

「麗、これっ」

そう言うと、潤は手をグーに前に出し、ゆっくり開いた

「えっ…!?!」

私は驚いて、これ以上声が出なかった
だって…

何も無いんだもん…!

「ほんとごめん!!」

成にあげちゃって…」

潤は何度も頭をさげた。

「…どうゆうこと?」

私は潤に問い質した。

すると潤は開いた手で私の腕を掴み抱きよせた…

「…俺じゃダメかな…?」

私は、はっと潤をみた

潤は持ち前の上目遣いで

「…名札の代わり♪」

そう言う…

ちゅっ,,

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6888r/>

俺じゃ…ダメかな…?

2011年10月8日21時58分発行